第12号　発行日　令和2年2月12日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南 SSH 通信　CELESTE

◇東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会

1月24日（金）～25日（土）　対象：2年次SSH生　　場所：山形県立東桜学館高等学校

1月24日（金）から2日間山形県立東桜学館高等学校で、東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会が行われ、本校から2年次SSHクラス生4名が参加しました。「タデアイの抗菌活性について」の口頭による研究発表では、練習の成果を発揮して、落ち着いた様子で発表することができました。ロボット班・プラナリア班は、アピールタイムの成果もあり、たくさんの観客に発表することができました。

【感想抜粋】

・時間にとらわれて早口になったり、内容を短くするのではなく、一番伝えたいことをまとめて発表することを学んだ。

・聞いてもらうことばかり考えて、研究内容をあまり考えていなかった。研究内容を深く理解し、今後の方針を決めることが大切だと学んだ。

・聞いている皆さんが温かい目で真剣に発表を聴いてくれて、緊張せずに無事終了することができた。

◇英語による数学実験

1月29日（水）　対象：2年次 SSH 生

場所：26HR教室

1月29日（水）5～6校時に、2年次SSHクラス生を対象に、正多面体の性質を考察する英語による数学実験が行われました。前の週に正多面体の定義と、数学実験に必要な英語を確認しました。実際に折り紙を折って正多面体を作ることで、生徒たちは面や頂点、辺の数を確認することが容易になり、正多面体の構造を実感することができました。しかし英語で折り方の説明を理解することはとても難しく、参考資料やスライドを参考にしながら正多面体を作成しました。

【感想抜粋】

・立体の特徴を表にまとめることで図形の規則性を知ることができて、数学の楽しさを改めて感じた。

・自分でデータをとってオイラーの多面体定理を確認できたのが良かった。

・日本語で学習している数学も、英語の語彙を増やさないと難しくなると思った。

・オイラーの定理は、なぜ穴のある多面体に当てはまらないのか気になった。

◇総合研究発表会

2月1日（土）　対象：2年次SSHクラス生

場所：青森県総合学校教育センター

県内の SSH、理数科、専門高校生などが、県総合学校教育センターに集まり、口頭発表とポスター発表を行いました。本校からは、理数系課題研究大会で推薦された1チーム（口頭発表）と9チーム（ポスター発表）が参加しました。口頭発表では、「皮むき器でむいたリンゴの皮の形状に関する数学的考察」に関して、2 名の生徒で発表しました。十分練習を積み重ねて、12月の理数系発表会より一層磨きをかけた発表ができました。たくさん出た質問にも堂々とした態度で対応でき、生徒たちも達成感を感じていたようです。ポスター発表では、これまでのプレゼンテーションの経験を活かして、しっかりと発表していました。質問に対しても的確に受け答えをしていました。

◇3ER　留学生との交流会

2月6日（木）　対象：1年次生全員

場所：第 1 体育館

2月6日（木）5～7校時、弘前大学・青森中央学院大学から留学生23名を招き、1年次生全員と交流しました。留学生の自己紹介を兼ねた出身地ご当地クイズの後、4月から研究してきた3ER活動の成果をまとめたリーフレットを使って、留学生に英語で発表しました。生徒たちは最初とても緊張していましたが、留学生の優しい態度に徐々にリラックスして、和やかに交流することができました。英語で研究内容を発表することはとても難しいことでしたが、貴重な体験をすることができました。

【留学生からのコメント】

・I think they prepared a lot for this presentation. I am very appreciative of their hard work.

・Their graphic designs are so eye-catching and easy to understand. You guys helped me open my mind.

・The student presentations were enjoyable to listen to and I enjoyed learning new information in science.

【生徒感想】

・英語を話すには、リスニングはもちろんだが、単語力がないと会話にならないと改めて感じた。

・目を見て話すことの重要性を学んだ。

・留学生は質問するときに、私たちにも分かるように分かりやすく質問してくれた。私たちのことを考えてそうしてくれたと感じた。